

第4学年 道徳科（人権）学習指導案

1 主題 認め合う仲間

2 主題設定の理由（省略）

3 ねらい

偏見や決めつけが相手ををひどく傷つけ、まちがいであることを理解させ、互いに認め合っ
ていこうとする態度を育てる。

4 指導計画

(1) これまでの学習

道徳科 「世界に一つだけの花」・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1時間

道徳科 「ひとりぼっちのＹちゃん」・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2時間

(2) 現在の学習

道徳科 「悪いときめている」（ひかり）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1時間（本時）

(3) これからの学習

総合的な学習の時間 「防災新聞を作ろう」・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7時間

友達の個性を認め合いながら、協力して、楽しく新聞作りができるようにする。

5 本時の学習

(1) 目 標

「けんじ」の思いや願いに気付き、偏見で人を判断せず、根拠のないうわさに流されること
なく、正しく判断し行動していこうとする態度を育てる。

ねらいとする道徳的価値	C－(12) 公正, 公平, 社会正義
-------------	---------------------

(2) 普遍的な学習のテーマ 仲間づくり

(3) 展 開

学習活動	指導上の留意点
1 本時の学習課題をつかむ。	○ 学級の実態に気付かせ問題意識を共有する。
2 どうして「けんじ」が差別されているのか考える。 ・「けんじ」の気持ちについて共感させる。 ・周りの友達の言動がまちがいであることを理解させる。	○ 差別的な言動を受けた「けんじ」の悲しい思いやくやしい思いに共感させ、偏見や根拠のないうわさを信じ決めつけることがまちがいであることに気付かせる。 ①
3 自分たちの生活を振り返る。	○ よりよい集団として生活していこうとする意欲を高める。 ②
4 偏見や決めつけをせず、互いに認め合うことができる学級にするために、自分ができることを考え発表する。	○ 自分にできることを具体的に考えさせ、ワークシートに書かせる。 ③

(4) 評 価

- ・ 偏見で人を判断するのは、間違っていることを理解することができたか。【知識的側面】①
- ・ 生活を振り返り、自分ができることをしようとする意欲をもつことができたか。
【価値的・態度的側面】②
- ・ 友達の意見を聞いたり、自分の考えを話したりすることができたか。 【技能的側面】③